



千葉動力労働組合

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話{(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

95.9.18 No. 4260

JR総連9名の配転弾劾! 千葉支社 鴨川準備区への配転強行

千葉支社は、九月一八日付けで、京葉運輸区七名、習志野運輸区二名、計九名の鴨川準備運輸区への配転を強行した。

配転となった九名は全員JR総連の組合員である。われわれは、この暴挙を徹底的に弾劾する。

団交では要員操配の考え方すら回答を拒否。

この間、われわれは、千葉支社に対し、勝浦運輸区・鴨川車掌支区廃止―鴨川運輸区新設の撤回を求めるとともに、何度となく鴨川運輸区への要員操配について明らかにするよう求めてきた。

しかし、千葉支社は、要員操配の考え方すら拒否し、その上で、鴨川運輸区新設準備のための配転を強行したのだ。しかも全員JR総連組合員を送るといって断じて許せない暴挙である。

当局とJR総連が結託した二重の不当労働行為

勝浦運輸区廃止攻撃は、動労千葉の一大拠点。勝浦支部を解体しようとする極めて重大な組織破壊攻撃。不当労働行為である。

そして、勝浦運輸区を廃止し、動労千葉を排除した職場。鴨川運輸区を設置しようというのだ。

まさしく二重の意味で、JR当局とJR総連革マルとが結託した不当労働行為である。

勝浦廃止 鴨川新設を社会問題に!

JR当局とJR総連の結託体制を暴いていこう!

しかしこのやり方自身、JR当局とJR総連革マルが余裕をもって攻め込んできているものではない。

JR当局とJR総連革マルの異なる結託体制は、いまや誰の目にも明らかになっている。一、国労が自民党・亀井らに一億九千万円秘密献金。なるデッチ上げを行なったことにより、国労も全国大会において、JR総連革マルと対決しなければ、闘いは前進しないことを確認した。政府・自民党すらその異様な結託体制を非難している。

まさしく用済みになった走狗。JR総連が切り捨てられる断末魔の危機にあえいでいるのである。

勝浦運輸区廃止 鴨川運輸区新設問題。JRとJR総連の結託体制を端的に示す問題だ。ここを焦点化し、社会的に明らかにしていくことこそ、あり

とあらゆる不当労働行為をほし、いままにしてきた「JR体制」を打倒する決定的なチャンスだ。

鴨川運輸区はJR総連が運営する?

JR総連は、七月七日の鴨川車掌支区分会の非番者集会で「鴨川運輸区はJR総連が運営する」「車掌は、国労・鉄産労を排除する」と地本書記長・斉藤が放言した。集会後の国労脱退者の歓迎会には、大場車務課長が出席したそうである。

不当労働行為を追及して闘おう!

「JR体制」を根底から打倒しよう!

第二二回動労千葉定期大会

日時 九五年一〇月一日(日)一三時より

一〇月二日(月)一二時まで

場所 千葉県いこいの里「笠森保養センター」

勝浦運輸区廃止―鴨川運輸区新設攻撃粉碎!

「二二月ダイ改」阻止―「JR体制」打倒!

全組合員は総結集しよう!